

世界金融危機の 日本経済への波及について

2010年9月
第44回 ESRI経済政策フォーラム

祝迫得夫
財務総合研究所／一橋大学

*以下で述べられている見解はあくまで祝迫個人のものであり、財務省および財務総合研究所のそれを反映したものではない。

世界貿易の急激な落ち込み

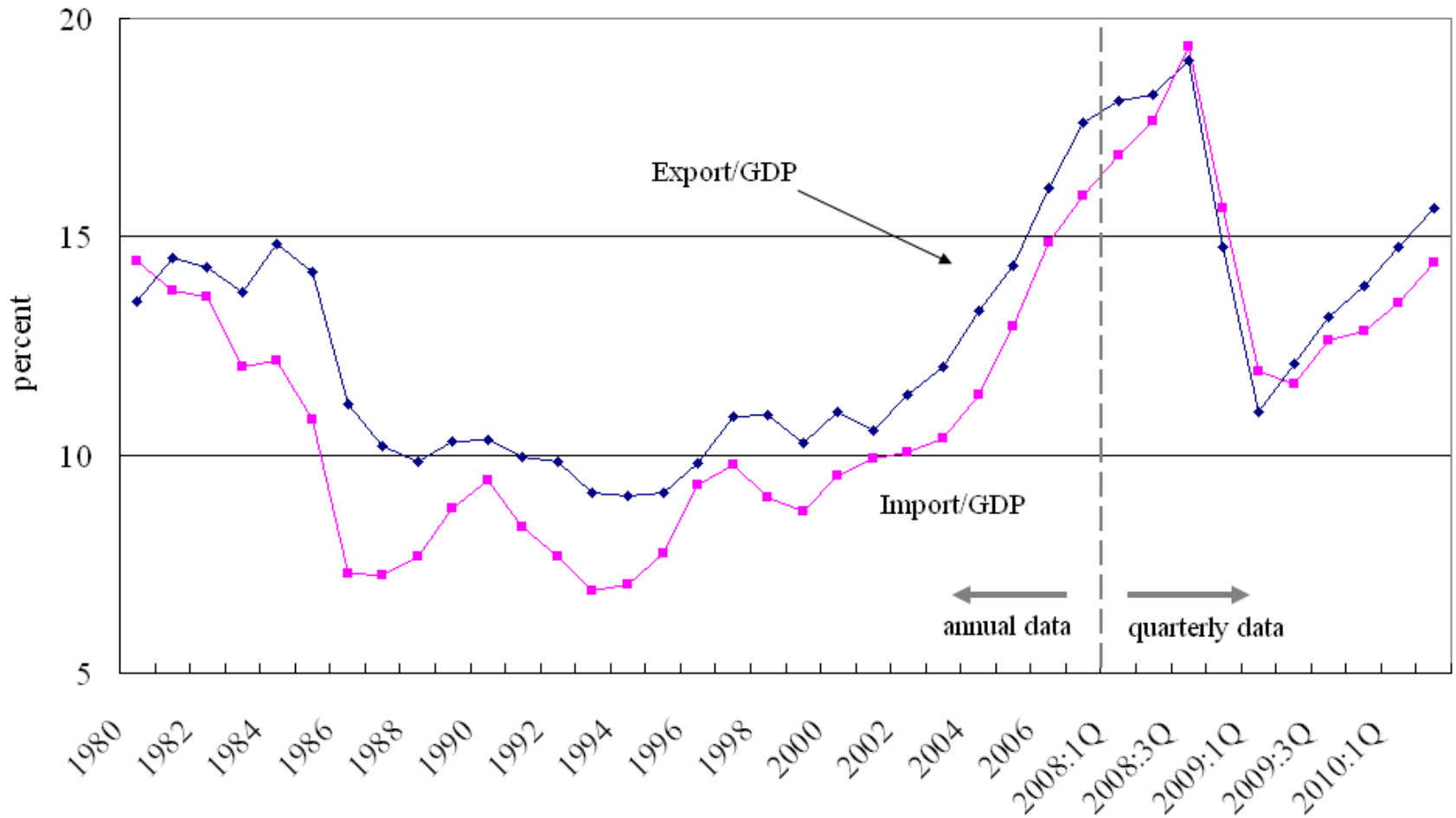
“Great Trade Collapse”

2008-09年の景気収縮と貿易の収縮

	景気の谷	財の輸出 (累積変化率)	鉱工業生産指数 (累積変化率)
世界全体	09年5月	△25% >>	△ 13%
先進国	09年5月	△ 24%	△ 17%
米国	09年5月	△ 23%	△ 14%
日本	09年6月	△ 22% <<	△ 36%
エマージング	09年1月	△ 28%	△ 9%

from Baldwin and Taglioni “The great trade collapse and trade imbalances,” in Richard Baldwin ed., *The Great Trade Collapse: Causes, Consequences and Prospects*, A VoxEU.org Publication, 2010.

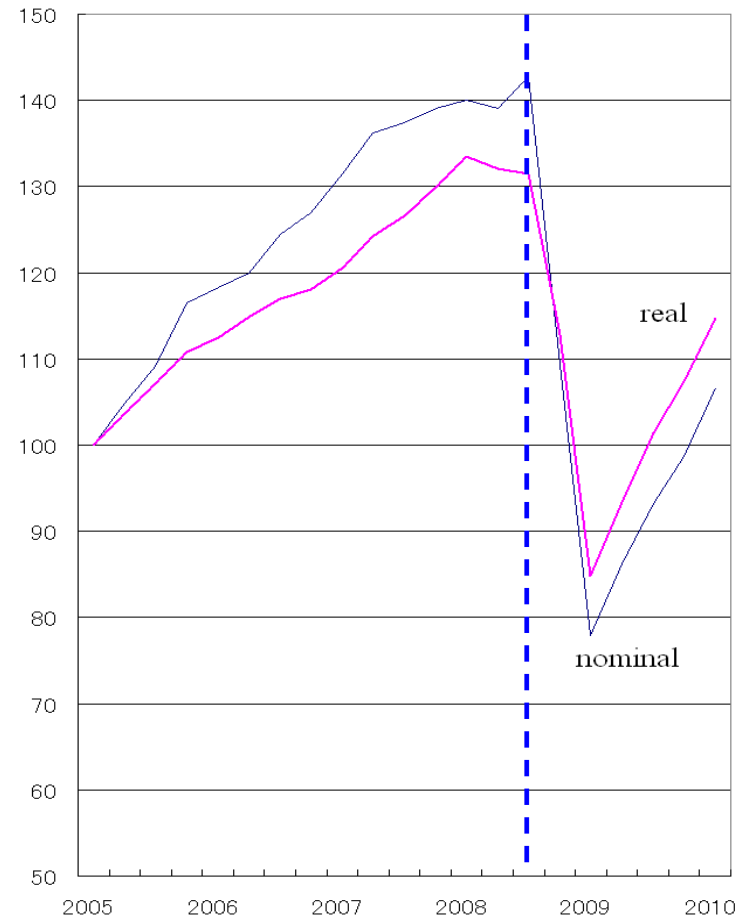
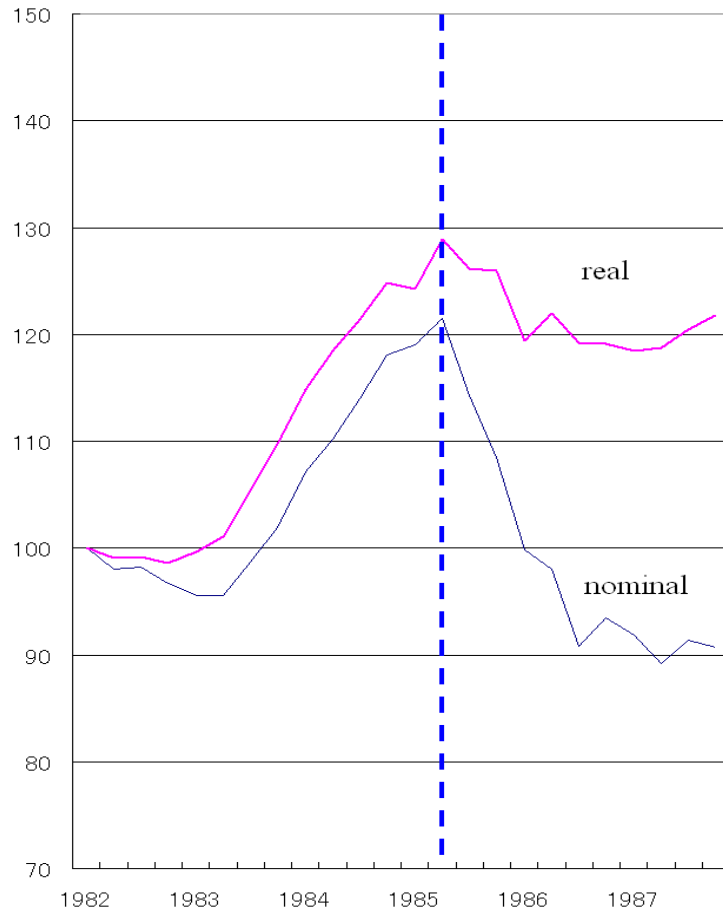
日本の輸出・輸入の対GDP比率(名目)



"1980-07(annual)" & "2008:1Q-2010:2Q (quarterly)"

日本の名目輸出 vs. 実質輸出

プラザ合意 vs. リーマンショック



日本の貿易収縮と景気収縮

- 他の国々と同じく、輸出入数量の急激な減少による部分が大きく、為替レートの影響はさほどではない。
- 貿易収縮 (trade collapse) の大きさは、他の先進国とほとんど変わらないが、産出量の落ち込みは飛び抜けていた。
- 理由1
 - 金融危機の震源地である欧米諸国の需要の落ち込みは、消費支出の先送りが可能な耐久財や投資財に集中していた。
 - これらの財の生産の急速な減少から、中間財需要も同じように落ち込んだ。
- 理由2
 - 2000年代を通じて、日本のマクロ経済は極端に輸出依存傾向を強めていた。
 - 同じ時期に、日本の製造業は東アジア諸国をサプライチェーンに組み込み、また日本も組み込まれていた。

Gross National Debt/GDP
(2010, OECD)

Net External Position/GDP
(2008/9, BOJ)

Japan	199.2 (%)	56.1 (%)
US	89.6	△ 24.0
UK	82.3	△ 13.1
Germany	80.9	37.3
France	93.8	△ 19.1
Italy	132.0	△ 19.2
Greece	129.1	△ 86.0
Ireland	82.9	△274.1
Spain	72.8	△ 93.6
Portugal	95.0	△112.0